

第 10 回 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨

1. 開催日時 : 令和 4 年 2 月 8 日(火) 9:30~11:30
2. 場 所 : 尾原ダム管理支所(雲南市木次町平田 211-5)
3. 出席委員 : 石飛 厚志 委員長、作野 広和 委員、勝部 博 委員、宇田川 光好 委員、
景山 孝志 委員、勝田 康則 委員、大谷 寿 委員、足立 和彦 委員、
武内 慶了 委員



4. 議事次第
 - 1) 開 会
 - 2) 挨拶 (委員長: 石飛 厚志 雲南市長)
 - 3) 出席者紹介
 - 4) 議 事
 - ① 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
 - ② 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - ③ 令和3年度のプロジェクト実施状況、令和4年度の実施プロジェクト(案)
 - ④ その他
 - 5) 閉 会
5. 配付資料
 - ・ 資料-1 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正
 - ・ 資料-2 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告
 - ・ 資料-3 令和3年度のプロジェクト実施状況、令和4年度の実施プロジェクト(案)

6. 議事要旨

1) 挨拶

- ・ 来年度、尾原ダムは建設完了後 10 周年という節目の年を迎える。これを記念し、盛大に記念イベントを開催したい。斐伊川の上流・下流域と幅広く参加を募り、治水 3 点セットの早期完成、尾原ダム(さくらおろち湖)周辺地域の更なる利用促進を目指し、一つの転機となることを願っている。
- ・ 来年度、次期ビジョンの策定のタイミングを迎えており、本日も皆さま方の忌憚のないご意見をいただきたい。
- ・ 今後とも、地域の皆さま、国、県、奥出雲町、雲南市のそれぞれがしっかりとスクラムを組み、この地域の振興、発展が図られるように努力して参りたい。
- ・ 本日は、活発なご議論をよろしくお願いしたい。



2) 議事

① 尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会規約改正

- ◆ 規約改正について、事務局提案どおり承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 第 3 条(内容)に「水源地域ビジョンの策定・改定」を追加
- ・ 第 4 条(組織等)の別表を変更(氏名の削除)

② 尾原ダム水源地域ビジョン推進の取組状況報告

- ◆ 事務局より「第 9 回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会」以降の取組状況について報告があり、承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 第 9 回尾原ダム水源地域ビジョン推進委員会の要旨
(規約改正、取組状況報告、当該年度の実施状況、翌年度のプロジェクト紹介ほか)
- ・ さくらおろち湖活性化ネットワーク会議の活動報告
(FUN まつりの企画、次期ビジョン、10 周年記念イベントほか)

③ 令和 3 年度のプロジェクト実施状況、令和 4 年度の実施プロジェクト(案)

- ◆ 事務局より令和 3 年度のプロジェクト実施状況および令和 3 年度の実施プロジェクト(案)について説明し、承認された。

【事務局説明内容】

- ・ 尾原ダム水源地域の現況について、ビジョンに基づき、地域住民や関係団体と連携し、取り組みを検討・推進している。
- ・ コロナ禍におけるイベント中止等により令和2年度は来訪者数が減少したが、令和3年度は実施可能な方法を検討して開催することでダム見学のほか、集客数が回復傾向となった。
- ・ CSR 活動、遠足、ダム見学、上下流交流、情報発信、ダム湖周辺の竹の伐採、植樹、チップ材の有効活用、土砂還元の取り組み、写真コンテスト、クレスト点検放流、ランバイク教室、体感ツアー、FUN まつり等を実施。ワカサギの放流は卵不足で未実施。
- ・ 次年度は、10 周年記念事業、次期ビジョンの策定のほか、コロナ禍におけるイベントなどの可能な方策での開催等により例年通り継続予定。

【委員からの主な意見】

- ・ ダム見学が令和2年度に比べ令和3年度は増加している原因は何か考えられるのか。
⇒ 令和2年度は秋ぐらいまで見学を受付しておらず、令和3年度は通年で見学受付することで学校関係や下流域(松江市、出雲市等)の来訪が多くなったためと考えられる。
- ・ 竹チップの牧場での活用について、評価や効果はどうだったか。
⇒ 具体的な評価は聞いていないが、引き続き引き受けたいと言っているところ。